

# 田嶋理事長他3名、GSAボストン 2018 に参加 国際老年学会で健康マージャン普及講演 活動内容展示

## ウェルネスマージャン、アメリカに初上陸

11月12日、田嶋智徳・理事長、山口博美・秋草学園短期大准教授(協会名誉会員)、高橋常行・「麻雀界」編集長(協会特命委員)、それに田邊会長の代理として西野孝夫・広報担当が同行して、アメリカ・ボストンに向けて出立する。国際老年学会に参加するためである。

メインの山口准教授は、日本の超高齢化問題の現況と健康マージャンの役割について、田嶋理事長は健康マージャンの現場について、高橋編集長は超高齢化社会を迎えた日本で健康マージャンがどのように受け入れられているかについて、それぞれ講演・報告が行われる予定である。

国際老年学会の開催は11月14日～17日の4日間であるが、健康マージャンの活動内容を展示するブース設営のために2日ほど早めに現地に着くようにしている。

## 講演・報告・展示を通じて WM を強くアピールしたい

折しもアメリカでは、1920年代のブームを第一次とすれば、今第二次のマージャンブームが訪れようとしている、という話である。

正しく、「健康マージャンのアメリカ初上陸」には、絶好のタイミングである。

国際老年学会は、世界各国から4千人ほどの医学者、医療関係者、報道人が集まる最大イベントである。

こうした権威あるイベントに健康マージャンが正式参加を認められ、「健康マージャン=Wellness Mahjong」をプレゼンし、アピールできることは画期的である。今年5月の「GSA 大会日中フォーラム」、6月の「日中アクティブ高齢化問題シンポジウム」、そして今回の「ボストン国際老年学会」、このような事業展開を仕掛けたのは、言うまでもなく田邊会長である。今回止むを得ない事情でアメリカ行きを断念されたのは真に残念である。

会報次号で詳細、乞うご期待  
(協会会報より抜粋)

GSA2018 紹介ページ( THE GERONTOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA 公式HP へのリンク)

<https://www.geron.org/meetings-events/gsa-2018-annual-scientific-meeting>